峯岸義一（みねぎしよしかず）　畫家、隨筆家。明治三十三年埼玉縣生れ（一九〇〇）。姓峰岸とも。號魏山人。昭和四年渡歐、ミロ、シャガール等とパリ東京新興美術同盟を結成。二科會、二紀會會員を經て中川一政等と日本水墨派展を創設、四十五年國畫院と改稱主宰。傍ら文筆を能くし小説に及ぶ。

著書『粋人酔筆』（合著・内外タイムス社編、昭和二十七年十月十五日日本出版共同株式会社）、『千零夜』（昭和二十七年十二月二十日粋古堂）、『男性入門とと かおお隨筆」二十人の武者修行』（合著、昭和三十年十一月二十五日あまとりあ社）、『うばを外したこと』（昭和三十一年一月二十五日美和書院）、『ロマンスグレー』（合著・平野威馬雄編、昭和三十一年三月三十日弘道閣「パレット文庫」）、隨筆『お好み青色申告』（昭和三十一年九月十五日美和書院）、『血にそよぐ葦」新説・大利根水滸伝（平手造酒篇）』（昭和三十二年十二月二十五日光書房）、『丁半・奇の巻』（昭和三十三年十二月五日朱雀社）、『女太平記』（昭和三十八年十月一日綜合企画出版部）、『えほん聊斎志異』（昭和四十年十月一日大法輪閣）、『墨絵入門』（峯岸魏山人名、新装第一刷・昭和五十年七月二十日実業之日本社）等。

えほん聊斎志異　峯岸義一
女太平記　峰岸義一
丁半　峰岸義一著
血にそよぐ葦　峰岸義一著
千零夜　峰岸義一著
千零夜
峯岸義一著